

豪州 —政策金利2.5%に据え置き—

＜政策金利2.5%に据え置き＞

9月2日、オーストラリア準備銀行（RBA）は政策金利を過去最低の2.5%に据え置きました。RBAは昨年8月の利下げ以来、政策金利を据え置いています。

声明文では引き続き「現時点における最も賢明な方向は、政策金利の安定化である」とし、当面の金利据え置きを示唆しました。

豪経済については、最近の経済指標は、一時弱まっていた企業の状況や消費者心理が徐々に改善してきており、経済が緩やかに成長はじめたことを示唆していると述べています。但し、鉱業セクターの投資が大幅に減少する一方で、非鉱業セクターの投資の回復は当面緩やかなものに留まると見込まれることから、トレンドを下回る成長を予想するとのこれまでの見通しを維持しました。

＜豪ドルは対円で上昇傾向＞

豪ドルは、4月以降、1豪ドル=0.93米ドル近辺で安定的に推移しました。一方対円では、8月に円安が進んだため大幅に上昇しました。

声明文では豪ドルの水準について、ファンダメンタルズから見た水準より高いと指摘されたため、発表後の豪ドルはやや下落しました。9月2日東京市場14時現在、1豪ドル=0.929米ドル、1豪ドル=97.44円の水準です。

3日には4-6月期GDPの発表やRBA総裁の講演が予定されており、市場の関心が集まっています。

＜今後の見通し＞

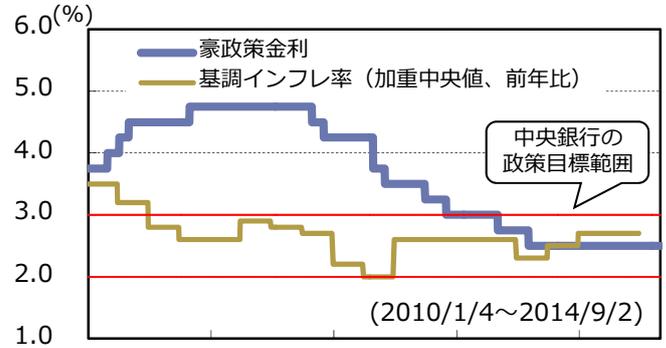
減少が予想されていた4-6月期の豪設備投資は、前期比+1.1%と拡大しました。また、2014-2015年度の設備投資計画では、鉱業セクターが予想通り大幅な減少となりましたが、非鉱業セクターは持ち直しの兆しを示しました。

スティーブンスRBA総裁は8月20日の議会証言で、短期的な景気調整のために金融政策を動かす可能性は極めて低いと指摘し、市場の一部に見られた利下げ期待は後退しました。

RBAは金融政策について中立姿勢を維持し、安定的な景気の拡大と雇用の回復が明らかになるまで低金利政策を継続すると見られます。

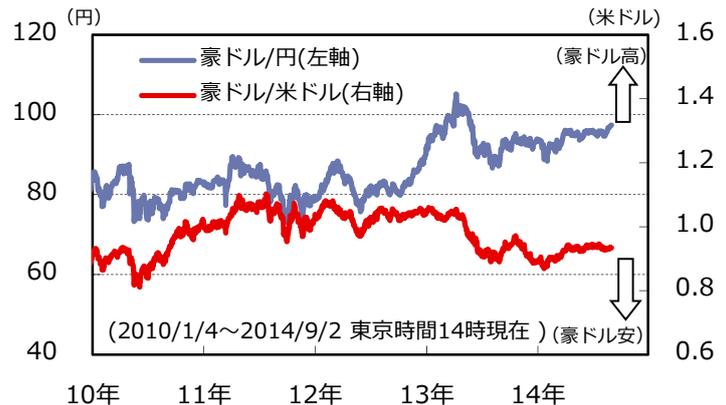
豪ドルについては、引き続き豪ドル高に対しては牽制の動きが予想されますが、現行の水準近辺で推移すると見られます。欧州や日本では追加緩和期待が高まっていることなどから、これらの通貨に対し豪州の相対的な金利の高さが豪ドルを下支えすると考えます。

＜豪政策金利とインフレ率の推移＞



10年 11年 12年 13年 14年
*政策金利は発表日ベース
*基調インフレ率は2010年1-3月～2014年4-6月

＜豪ドル為替の推移＞



10年 11年 12年 13年 14年

＜豪失業率の推移＞



10年 11年 12年 13年 14年
出所：Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のおいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会